

木のすまい新

「シリーズあれから2年」

今回は2年前に完成、お引渡ししました、高砂市にお住まいの工様をご紹介いたします。工様とはじめての出会いは今を遡ること3年前、「山鹿が自宅に無い下りてくる環境の所」という条件のもと、土地探しからのスタート。

当時を振り返ると一番の不安はやはり資金面で、年収・勤務年数・奥様のパート状況・子供の教育計画等をもとに、月々の返済計画と借入れできる金額を逆算。



木のすまい仕様の家 「五感で感じ、住もう家」

それにより具体的に建築可能な土地と建物の大きさが見えてきます。

現在の土地の用途が付いた所で次はプランニング。プランには、お客様のたつての希望もあり音屋モデルを設計された故清國碩基先生の意図（設計「ド」を盛り込み、敷地と庭や建物の関係、通風と採光も考慮。

取材に向った時も、「家族の笑顔に迎えられる玄関に入ると、そこには2階の子ども部屋も望める大きな吹抜けのあるリビング・ダイニングが広がり、南に面する開口部からの日差しがあふれる室内は、ほどよい温かさに包まれ、空気をサラリととても気持ちよく感じられました。

裸足で走り回る娘を見ると「この家を選んで本当に良かったなあ」と奥様、子供たちも犬の顔に見える床の節を見つけては「わんわん」と言って楽しんでる様子。また、「疲れて仕事から帰ってきて、玄関を入ると香る木の匂いにはいつも癒されます。」と主人。

この家は「子供たちを育てるのに優しい家であると同時に私たち家族四人を木があたたかく見守ってくれているような感じがします。」と、「家族の生活ぶりも伺え、大変嬉しいお言葉まで頂きました。

木の家
ひょうご木のすまい協議会
Vol. 02
SEPTEMBER
OCTOBER

木は山ではなく、港から運ばれてくる

木材は山から運ばれてくる。山から...と聞いたらどうもイメージが、実は多くの木材は港から運ばれます。つまり、日本は外国の山から伐った木をたくさん輸入しているのです。事実、日本は住宅や製紙用パルプ等を使う木の2割が「国産材」で残りの8割は外材です。

最近、ロシアやアフリカ、南米諸国の違法伐採が報道されていますが、どこの山の木を使うかということを考えるのがとても大切なことです。いくら木の丈夫さや肌合いを生かした気持ちのよい家ができたとしても、それが外国の自然破壊や災害に加担しているとなったら、素直に言えることはできません。厳密に言えば日本の山でも同じです。伐ったら伐りっぱなしの山から出た木が、きちんと伐った分、苗を植えている山かということも、環境のことを考える上で、非常に重要なことなのです。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 啓介

【兵庫県林務課からのお知らせ】
「ひょうご木材フェア」イベント開催
一開催予定イベント
・木造住宅相談/パネル展示
・木工教室/木材・木製品の展示、即売（ベンチ/テーブル/家具/木工玩具他）
・県産材利用特別融資制度のご案内
・しいたけの販売
日時：平成19年10月28日（日）10時～15時
場所：西宮市 甲山森林公園
※「ひょうご森の日」と同時開催
※「ひょうご木のすまい協議会」も参加します
※ 内容は都合により変更になる場合がございます
<http://web.pref.hyogo.jp/>

ーひょうご木のすまい協議会のイベントご案内ー

●産地見学バスツアー開催

住宅建築・リフォームをお考えの方に、木材の伐採から住宅が建てられるまでの行程について、実際に見学して理解を深めてもらうバスツアーを開催します。見学先は県産木材の伐採現場、製材工場、モデル住宅です。皆さん、是非、ご参加下さい。

とき：10月13（土） 8:00～17:00（予定）
集合場所：阪急西宮北口駅又はJR姫路駅
定員：各40名（先着順）



●ひょうごの木で家を作る『家づくりセミナー』（第2クルー）

兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいづくりは、安心で安全、しかも環境との共生にも配慮した健康で楽しいライフスタイルを提供します。計四回の講座を通し、木の家の良さや家づくり進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

- ・開催日
【第1回】H19年11月17日（土）
【第2回】H19年12月15日（土）
【第3回】H20年 1月26日（土）
【第4回】H20年 2月23日（土）
- ・時間 13:00～15:00
- ・費用 4,000円（4回分）
- ・場所 兵庫県民会館
JR・阪神「元町」駅より徒歩7分
地下鉄「県庁前」東1・2番出口すぐ
市バス「県民会館前」下車すぐ
※詳しくはお問合せ下さい

